

吉岡町学校施設長寿命化計画 概要版

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的

1. 背景と目的

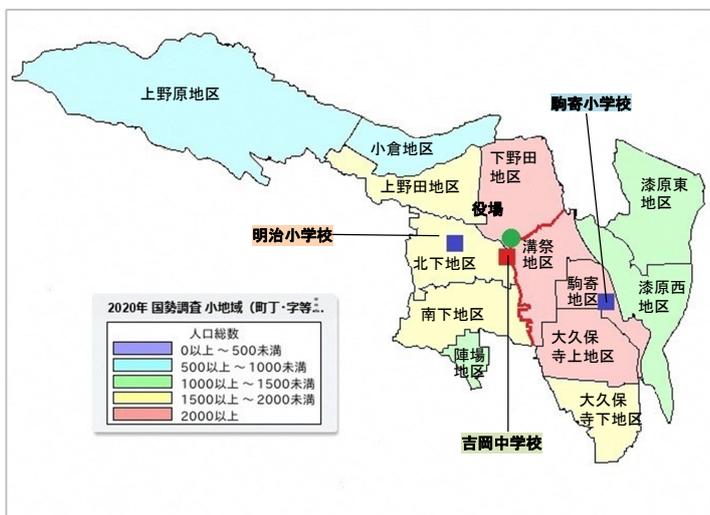
本町は平成29(2017)年3月に公共施設等における整備の基本的な方針として「吉岡町公共施設等総合管理計画」(以下、「総合管理計画」という)を策定しました。さらに、総合管理計画に基づき、個別施設の対応方針を定める計画として、令和3(2021)年3月に学校施設の長寿命化計画を策定し、令和5(2023)年3月に一部を改訂しました。

2. 計画期間

本計画は総合管理計画と連動させて、令和38(2056)年度までの期間とします。ただし、実際に改修を行った場合や、法改正等の社会的要求水準の変化を受けて、状況が変化する場合があるため、5年をめぐりに計画の見直しを行うことを基本とします。

3. 対象施設

本計画の対象施設は以下のとおりです。



※地図で見る統計(統計GIS)、令和2(2020)年国勢調査、町丁・字等別境界データより作成

施設・棟	延床面積(m ²)	建築年度
明治小学校		
北校舎東	3,523	昭和53(1978)
北校舎西	779	昭和54(1979)
南校舎	794	平成28(2016)
駒寄小学校		
南校舎	2,353	昭和58(1983)
中校舎	3,830	平成16(2004)
北校舎	636	平成25(2013)
屋内運動場	1,314	令和2(2020)
吉岡中学校		
北校舎西	1,576	昭和43(1968)
北校舎東	1,668	昭和44(1969)
南校舎西	695	昭和61(1986)
南校舎東	777	平成2(1990)
西校舎	553	昭和56(1981)
中校舎	443	平成22(2010)
東校舎	462	令和元(2019)
屋内運動場	1,993	平成22(2010)
明治地区児童屋内体育施設		
-	979	昭和54(1979)

第2章 学校施設の目指すべき姿

1. 高機能高機能かつ多機能で変化に対応しうる弾力的な施設環境

GIGAスクール構想に基づくICT環境整備の体制を維持しつつ、今後も学校教育の進展や情報技術の進展等に長期にわたり対応することのできるよう、施設整備に努めます。

2. 健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保

児童・生徒の学習及び生活の場として、良好な環境を確保するとともに、災害時には避難所として活用できるよう防災性を備え、障害のある児童・生徒にも配慮しつつ、防災性、防犯性など安全性を備えた安心感のある施設環境整備に努めます。

3. 長期間にわたって持続可能な学校施設づくり

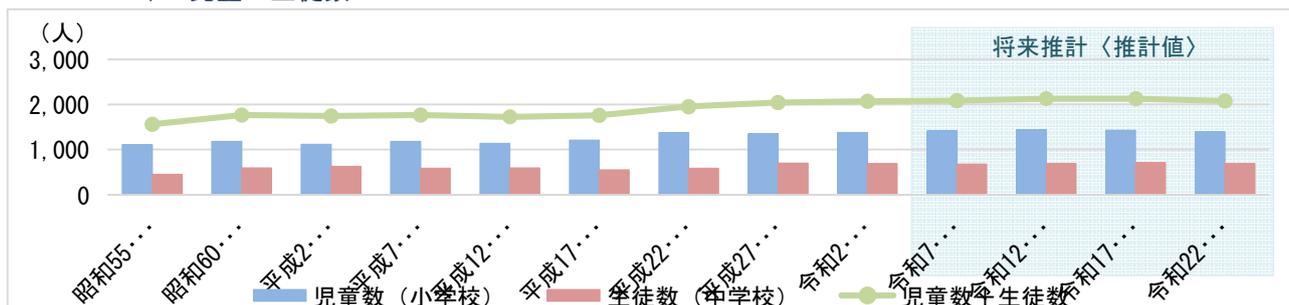
事後保全型の管理から予防保全型の管理へ転換し、長寿命化を前提とした効率的で計画的な改修を実施し、学校施設が長期間にわたって良好な状態を維持できるように努めていきます。

第3章 学校施設の実態

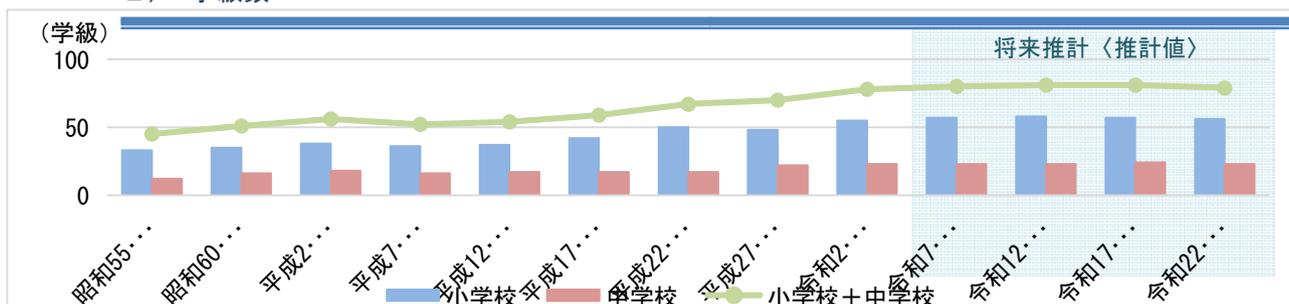
1. 児童・生徒数及び学級数の推移

平成27(2015)年頃から児童・生徒数の合計が2,000人を超え、その後も微増傾向を保っています。将来推計は令和12(2030)年まで増加傾向ですが、その後も横ばい状態が予想されます。児童・生徒数の増加や群馬県のさくら・わかばプランの少人数学級編成に伴い、学級数も増加傾向となっています。

1) 児童・生徒数



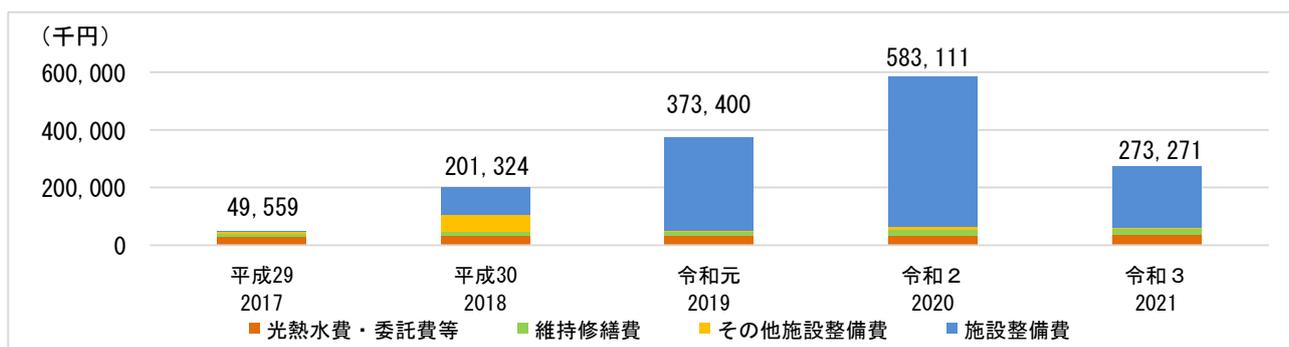
2) 学級数



2. 施設関連経費の推移

直近5年間の施設関連経費は、平成28(2016)年度に明治小学校南校舎増築事業を、令和元(2019)年度に、吉岡中学校東校舎増築事業及び駒寄小学校屋内運動場新築事業を行ったことにより、施設整備費が大きく

単位:千円	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	5年平均
施設整備費	215	94,410	323,604	519,243	212,766	230,048
その他施設整備費	8,835	60,847	2,090	8,635	1,980	16,477
維持修繕費	9,252	13,459	15,151	21,904	21,371	16,227
光熱水費・委託費等	31,257	32,608	32,555	33,329	37,154	33,381
施設整備費以外の合計	49,344	106,914	49,796	63,868	60,505	66,085



3. 学校施設の老朽化状況の実態

対象施設の劣化状況等を評価すると下表のようになりました。

施設概要						構造躯体以外の劣化状況等の評価					
施設名称	建物名称	延床面積 (㎡)	構造	階数	竣工年度	屋根天井	外壁	内壁・天井・床	電気設備	機械設備	総合現存率
明治小学校	北校舎東	3,523	RC	4	1978	B	B	B	C	B	B
	北校舎西	779	RC	4	1979	B	A	B	C	B	B
	南校舎	794	RC	2	2016	A	A	A	A	A	A
駒寄小学校	南校舎	2,353	RC	3	1983	B	B	B	C	B	C
	中校舎	3,830	RC	3	2004	A	B	B	B	B	B
	北校舎	636	RC	2	2013	A	A	A	A	A	A
	屋内運動場	1,314	S	1	2020	A	A	A	A	A	A
吉岡中学校	北校舎西	1,576	RC	3	1968	A	B	B	C	B	B
	北校舎東	1,668	RC	3	1969	A	B	B	B	B	B
	南校舎西	695	RC	2	1986	A	A	A	C	B	B
	南校舎東	777	RC	2	1990	A	B	B	C	B	B
	西校舎	553	RC	2	1981	B	C	C	C	B	B
	中校舎	443	RC	1	2010	A	A	A	A	B	A
	東校舎	462	RC	1	2019	A	A	A	A	A	A
	屋内運動場	1,993	S	2	2010	A	B	A	B	A	A
明治地区児童屋内体育施設	979	S	1	1979	C	C	C	C	D	C	

A 現存率 80 以上 概ね良好
 B 現存率 60 以上 80 未満 部分的に劣化等が見られるが、安全上・機能上問題なし
 C 現存率 40 以上 60 未満 広範囲に劣化等が見られ、安全上・機能上低下している
 D 現存率 40 未満 劣化度が大きく安全上・機能上問題であるための対応が必要

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

目標耐用年数まで使用するため、**築後20年経過後に原状回復のための大規模改善**を行い、**目標使用年数の中間期に長寿命化改修**を実施していくことを基本とします。また、定期的な改修を行うことで建物の長寿命化をめざします。ただし、築後40年程度経過した施設など、目標耐用年数までの期間が少なく老朽化が著しい施設については、長寿命化を行うことによって財政への負担が増加する可能性があるため、その時の財政状況や費用対効果を検証しながら、長寿命化改修の有無などを検討していきます。

第5章 長寿命化の実施計画

築年数が50年を経過し、劣化が著しい建物については、安全面・機能面を考慮し、長寿命化改修工事や大規模改修工事を財政状況なども含め総合的に判断し、最適なメニューを実施します。また、建物の機能回復を図る大規模改修工事や長寿命化工事のタイミングに合わせて、教育環境の改善や社会的なニーズに対応するための改修も併せて検討します。

第6章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

公共施設等管理計画の基本穂的な方針に従い、管理運営状況等に関わる情報を一元的に把握して、効率的かつ効果的な維持管理を目指します。

2. 推進体制等の整備

学校施設の所管である教育委員会を中心となって進めていきますが、公共施設等管理計画と連携を図りながら対応を図っていきます。また、日常の施設管理の質を向上するため、管理業務委託による巡回点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期発見と対応を図っていきます。

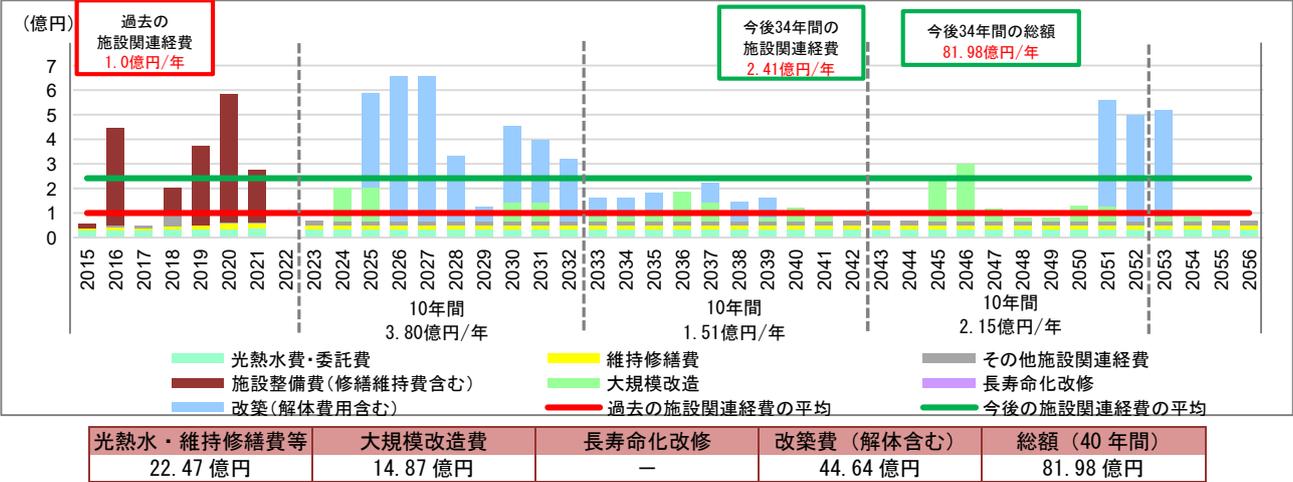
3. フォローアップ

本計画の目的である、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化や施設の長寿命化を実施するためには、定期的な施設の情報と、これによる中長期的視点による計画の更新・見直しが必要となります。

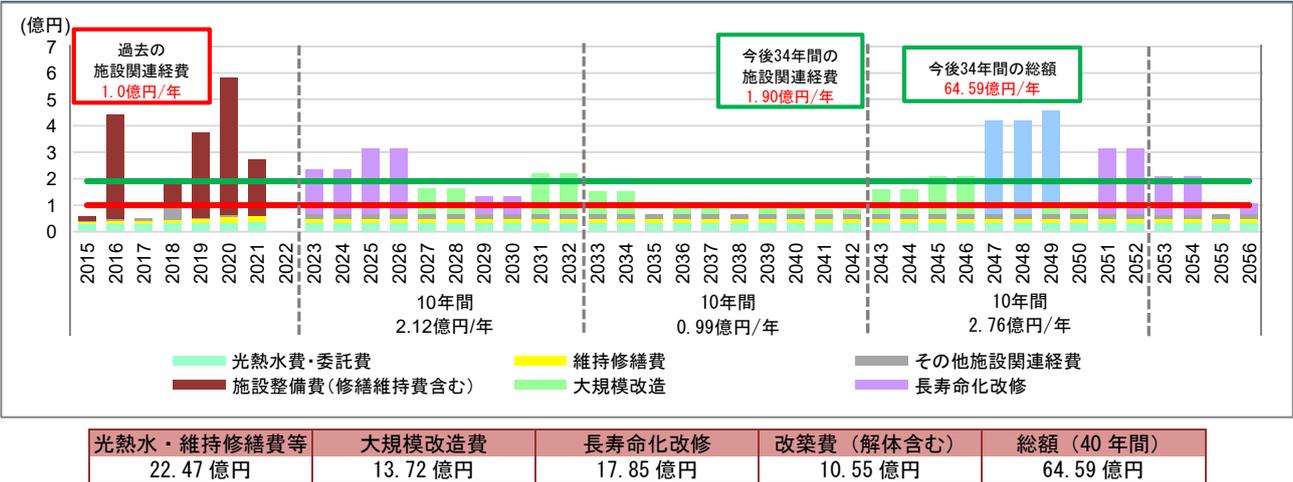
本町では、定期的な現状把握手段として、施設ごとに建築基準法第12条点検と同等の定期点検を3年ごとに行い、これを基に劣化状況を評価し、その結果を反映して計画の見直しを図っていきます。

■ 今後の維持管理コスト（従来型、長寿命化型【平準化】）

□ 従来型



□ 長寿命化型【平準化】



□ 今後の実施計画

	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 8 (2026)	令和 9 (2027)
長寿命化改修	明治地区児童屋内体育施設 51,987 (千円) 51,987 (千円)				
	駒寄小学校 南校舎 116,239 (千円) 116,239 (千円)				
			吉岡中学校 西校舎 27,208 (千円) 27,208 (千円)		
			明治小学校 北校舎東・西 221,342 (千円) 224,342 (千円)		
大規模改造					吉岡中学校 北校舎西・東 93,582 (千円)

※端数処理の都合により総額が合わない場合があります。